

*ぼんようい	(盆用意)	初秋二二〇	ましじみ	(真蛸)	三春 五五	まつとる	(松取る)	新年三四八
ぼんれい	(盆礼)	初秋二二〇	ましみず	(真清水)	三夏一〇三	まつなぬか	(松七日)	新年三三五
まあじ	(真鱒)	三夏一四四	ましらぎけ	(ましら酒)	三秋二〇六	*まつのうち	(松の心)	新年三三五
*まいぞめ	(舞鳥賊)	三夏一四四	*ましらたけ	(猿茸)	三秋二五九	まつのはな	(松の花)	晩春 六四
まいたけ	(舞茸)	新年三四六	*ます	(鱈)	晩春 五四	*まつのはな	(松の心)	晩春 六五
*まいはじめ	(舞始)	三秋二五九	ますかつと	(マスカット)	初秋二三八	*まつのみどりつむ	(松の緑摘む)	晩春 三〇
まいまい	(鼓虫)	新年三四六	ますくろん	(マスク)	三冬二八八	まつぼうど	(松葉独活)	晩春 七一
まいまい	(まいまい)	三夏一四八	ますくろん	(マスク)	三冬二八八	まつばがに	(松葉蟹)	三冬三一八
まいわし	(真鰯)	三夏一五一	ますくろん	(マスク)	三冬二八八	*まつばぼたん	(松葉牡丹)	晩夏一六七
まがき	(真牡蠣)	三秋二三〇	ますほのすずき	(十寸穂の芒)	晩夏一七〇	まつばやし	(松葉やし)	晩春 四二
まがも	(真鴨)	三冬三二八	ませ	(ませ)	三秋二五五	まつぶく	(松囃子)	晩春 四二
まがも	(真雁)	三冬三二八	まさほのすずき	(真竹の芒)	三夏 九二	*まつぶかえ	(末伏)	晩夏 八八
まがも	(真雁)	三冬三二八	まだけのこ	(真竹の子)	三秋二五五	*まつむし	(松虫)	年越二〇六
*まきどざす	(牧閉す)	仲春 三二	*またたび	(木天蓼)	初夏一七〇	*まつむしそ	(松虫)	初秋二二三
*まきびらき	(牧開)	仲春 三三	*またたびのはな	(木天蓼)	三秋二四五	*まつむしり	(松虫)	初秋二五八
まきひらく	(牧開く)	仲春 三三	まだら	(木天蓼の花)	仲夏 一六三	*まつよい	(待宵)	三春 五〇
まくず	(真葛)	三秋二五六	まつあかし	(真鱈)	三冬三一七	まつよいぐさ	(待宵草)	晩夏 一七五
まくずはら	(真葛原)	三秋二五六	まつあけ	(松あかし)	初冬三〇七	*まつり	(祭)	三夏二一〇
*まくなき	(蟻)	三夏二四九	*まつあけ	(松明)	新年三三五	*まつりが	(茉莉花)	三夏一五五
*まくらびようぶ	(枕屏風)	三冬二九五	*まつあけ	(松上げ)	仲秋二二一	まつりがみ	(祭鉦)	三夏一三〇
*まくろ	(枕)	三冬二九七	*まつおさめ	(まついか)	晩春 五四	まつりがみ	(祭髪)	三夏一三〇
まくわうり	(甜瓜)	三冬二九七	*まつおさめ	(松納)	新年三四八	まつりじし	(祭獅子)	三夏一三〇
まくわうり	(真桑瓜)	晩夏一七〇	*まつおさめ	(松落葉)	初夏一六一	まつりだいこ	(祭太鼓)	三夏一三〇
まけごま	(負独楽)	晩夏一七〇	まつかざり	(松飾)	新年三三九	まつりちようちん	(祭提灯)	三夏一三〇
まけどり	(負鶏)	新年三四六	まつかざる	(松飾る)	年越二八四	まつりばやし	(祭囃子)	三夏一三〇
*まこも	(真菰)	三夏一七五	まつかふん	(松花粉)	三春 六五	まつりぶえ	(祭笛)	三夏一三〇
*まこものうま	(真菰の馬)	三夏一七五	まつくぐり	(まつくぐり)	三春 五〇	まつりぶえ	(祭舟)	三夏一三〇
まさかきのはな	(真菰の芽)	初秋二二〇	*まつすぎ	(松蠅)	晩春 六五	まつりぶね	(祭舟)	三夏一三〇
まさかきのはな	(真菰の芽)	仲春 七八	*まつたけ	(松茸)	晩春 五七	まて	(馬刀)	三春 五五
まじ	(まじ)	三夏 九二	*まつたけめし	(松茸飯)	仲秋二五九	*まてがい	(馬蛤貝)	三春 五五
まじ	(まじ)	三夏 九二	*まつていれ	(松手入)	晩秋二一〇	まてがい	(馬刀貝)	三春 五五

までつき	(馬蛤突)	三春	五五
まとはじめ	(的始)	新年	三四八
*まないたはじめ	(組始)	新年	三四三
まなつ	(真夏)	仲夏	八八
*まびきな	(真引菜)	仲夏	二五一
まひわ	(真鵜)	晩秋	二二八
まふゆ	(真冬)	晩冬	二七〇
まふらー	(マフラー)	三冬	二八八
ままこのしりぬぐい	(ままこのしりぬぐひ)	初秋	二五八
ままつこ	(ままつこ)	晩春	六六
*まむし	(蝮)	三夏	一三八
まむし	(蝮蛇)	三夏	一三八
*まむしぐさ	(蝮蛇草)	晩春	七六
まむしぐさ	(蝮草)	晩春	七六
まむしとり	(蝮酒)	三夏	一三八
まめうう	(豆捕)	三夏	一三八
まめうつ	(豆打つ)	初夏	一一九
まめごはん	(豆御飯)	晩冬	三〇六
まめたたく	(豆叩く)	初夏	一〇七
まめたん	(豆たん)	仲秋	二二四
*まめのはな	(豆の花)	三冬	二九六
まめはぎ	(豆稻架)	晩春	七〇
*まめひく	(豆引く)	仲秋	二二四
まめまき	(豆撒)	仲秋	二二四
*まめまく	(豆蒔く)	晩冬	三〇六
まめむしろ	(豆筵)	初夏	一一九
まめめいげつ	(豆名月)	仲秋	二二四
*まめめし	(豆飯)	晩秋	一九七
まやだし	(まやだし)	初夏	一〇七
*まゆ	(繭)	仲春	二〇九
まゆかき	(繭搔)	初夏	二二〇
まゆだま	(繭玉)	新年	三四九
まゆはきる	(繭煮る)	仲夏	二二〇
まゆはきそう	(眉掃草)	仲春	七六
まゆほす	(繭干す)	初夏	一一〇
*まゆみのみ	(繭の実)	晩秋	二四四
まゆみのみ	(真弓の実)	晩秋	二四四
まよなかのつき	(真夜中の月)	仲秋	一九七
まりあ	(マリアの月)	初夏	八三
*まりはじめ	(鞠始)	新年	三四八
まるなす	(丸茄子)	晩夏	一七一
まるはだか	(丸裸)	晩夏	一二五
まろにえのはな	(マロニエの花)	初夏	一六二
まわりどうろう	(回り灯籠)	三夏	一一六
まんげつ	(満月)	仲秋	一九六
*まんごー	(マンゴー)	三夏	一五八
*まんざい	(万歳)	新年	三四二
*まんざく	(金縷梅)	初春	六五
まんざく	(満作)	初春	六五
まんざくのはな	(まんざくの花)	初春	六五
*まんじゆしやげ	(曼珠沙華)	初秋	二五七
まんだらえ	(曼荼羅会)	初夏	一三二
まんだらげ	(曼陀羅華)	晩夏	一七四
*まんたらうき	(万太郎忌)	初夏	一三四
*まんとう	(マント)	三冬	二八七
まんどう	(万灯)	晩秋	三〇九
*まんりよう	(万両)	三冬	三二六
みうめ	(実梅)	仲夏	一五六
みうめもぐ	(実梅もぐ)	仲夏	一五六
*みえいく	(御影供)	仲春	四四
みえいこう	(御影講)	仲春	四四
みかぐら	(御神楽)	仲冬	三〇八
みかづき	(三日月)	三秋	一九五
みかわまんざい	(蜜柑万歳)	新年	三四二
*みかん	(蜜柑)	三冬	三二二
*みかんのほな	(蜜柑の花)	初夏	一五五
みかんやま	(蜜柑山)	三冬	三二二
みくさおう	(水草生ふ)	仲春	七八
みくさもみじ	(水草紅葉)	晩秋	二五九
みこし	(神輿)	三夏	一三〇
みこしぶね	(神輿舟)	晩夏	一三二
みざくら	(実桜)	仲夏	一五三
みざくろ	(実榴)	初秋	二三八
みざけ	(身酒)	三冬	二八九
みさはじめ	(弥撒始)	新年	三五二
みざんしょう	(実山椒)	初秋	二四五
*みじかよ	(短夜)	三夏	八八
*みずあおい	(水葵)	晩夏	一七五
*みずあそび	(水遊)	三夏	二二三
みずあたり	(水中)	晩夏	一一八
みずあらそい	(水争)	仲夏	一一八
みずうらわ	(水打扇)	三夏	一一五
みずうつ	(水打つ)	三夏	一一七
みずおとす	(水落す)	仲秋	二〇四
*みずがいがい	(水貝)	三夏	一一二
みずがたき	(水敵)	仲夏	一一八
*みずからくり	(水機関)	三夏	一一四
*みずかる	(水廻る)	三冬	二八一
*みずぎ	(水着)	晩夏	一〇六
*みずきのはな	(水木の花)	初夏	一六二
みずきようげん	(水狂言)	晩夏	一一三
みずくさおいそむ	(水草生ひ初む)	仲春	七八

*みずくさおう	(水草生ぶ)	仲春	七八	みずめがね	(水眼鏡)	三夏	一一一	*みつめ	(蜜豆)	三夏	一一一
*みずくさのはな	(水草の花)	三夏	一七九	みずめし	(水飯)	晩夏	一〇七	みどりさす	(緑さす)	初夏	一五八
*みずくさもみじ	(水蜘蛛)	晩秋	二五九	*みずようかん	(水羊羹)	晩冬	二八八	みどりたつ	(緑立つ)	晩春	三〇四
みずくらげ	(水海月)	三夏	一四五	*みせばや	(みせばや)	三夏	一一一	みどりつむ	(緑摘む)	晩春	三〇四
みずげい	(水芸)	三夏	一四五	*みせんりよう	(実千両)	三冬	三二六	*みどりのひ	(みどりの日)	晩春	三〇四
*みずげんか	(水喧嘩)	晩夏	一一三	*みそかそは	(晦日蕎麦)	年越	二八五	*みどりのよ	(緑の夜)	初夏	一八八
みずしも	(水霜)	仲夏	一一八	みそぎ	(御祓)	晩夏	一三一	みな	(みな)	三春	四五
みずすまし	(水澄し)	晩秋	二〇二	みそぎがわ	(御祓川)	晩夏	一三一	みなくちのぬさ	(水口の幣)	晩春	四一
みずすまし	(みづすまし)	三夏	一四八	*みそささい	(鶴鶉)	三冬	三二五	みなくちまつり	(水口まつり)	晩春	四一
*みずすむ	(水澄む)	三秋	二〇四	みそささい	(三十三才)	三冬	三一五	みなしぐり	(虚栗)	晩春	四一
みずつけ	(水漬)	晩夏	一〇七	みぞさらえ	(溝浚へ)	初夏	一一七	*みなつぎ	(水無月)	晩秋	二三八
みずどつぼう	(水鉄砲)	三夏	一一二	*みぞさらえ	(溝浚へ)	初夏	一一七	みなつぎはらえ	(水無月祓)	晩夏	八七
みずどの	(水殿)	三夏	一一二	みそしこむ	(味噌仕込む)	三冬	三〇一	*みなみ	(南風)	晩夏	一三一
*みずとり	(水鳥)	三冬	三一五	*みぞそば	(溝蕎麦)	初秋	二五九	*みなみ	(南風)	三夏	九二
みずとり	(水取)	仲春	四三	みそたぎ	(味噌たぎ)	三冬	三〇一	みなみかぜ	(南風)	三夏	九二
*みずな	(水菜)	晩春	七〇	*みそつき	(味噌搗)	三冬	三〇一	*みなみじゆうじせい	(南十字星)	三夏	九二
*みずぬすむ	(水盗む)	仲夏	一一八	みそつく	(味噌搗)	三冬	三〇一	みなみふく	(南吹く)	三夏	九二
*みずぬるむ	(水温む)	仲夏	一一八	みそつくる	(味噌作る)	三冬	三〇一	みなみまつり	(南祭)	三夏	九二
みずのはる	(水の春)	三秋	二〇四	*みそはぎ	(鼠尾草)	初秋	二五七	みなんてん	(身入天)	初秋	二二六
みずのはる	(水の春)	三春	二二	みそはぎ	(鼠尾草)	初秋	二五七	*みにいりむ	(身入入む)	晩秋	二二六
*みずばし	(水芭蕉)	仲夏	一七五	みぞる	(溝萩)	三冬	二七六	*みにいりむ	(身入入む)	三秋	一九〇
*みずばな	(水漬)	三冬	三〇三	*みぞる	(溝萩)	三冬	二七六	*みねいり	(峰入)	晩春	四五
みずはも	(水鱧)	三夏	一四四	*みぞる	(溝萩)	三冬	二七六	みねいり	(峰入)	三夏	九一
みずばん	(水番)	三夏	一四四	みだれはぎ	(乱れ萩)	初秋	二五五	みのが	(篝雲)	三夏	九一
みずばんごや	(水番小屋)	仲夏	一一八	みちおしえ	(道をし)	三夏	一四七	*みのむし	(篝虫)	三夏	一四六
みずひきそう	(水引草)	仲夏	一一八	みちぎねき	(道真忌)	三夏	一四七	みのむしなく	(篝虫鳴く)	三秋	一三五
*みずひきのはな	(水引の花)	初秋	二五八	*みつか	(三日)	晩春	四二	みのりだ	(稔り田)	三秋	一三五
みずまき	(水撒)	初秋	二五八	みつぱ	(みつぱ)	新年	三三四	みのわた	(篝陽)	三秋	一三〇
みずまもる	(水守る)	三夏	一一七	みつぱせり	(みつぱ)	三春	七〇	みはまなす	(篝腸)	三冬	二九二
みずまんじゆう	(水饅頭)	仲夏	一一八	みつぱち	(蜜蜂)	三春	七〇	みぶおどり	(壬生踊)	初秋	二四六
みずみそ	(水味噌)	三夏	一一一	みつぼし	(三つ星)	三春	五七	みぶきようげん	(壬生狂言)	晩春	四五
*みずみまい	(水見舞)	初春	七四	*みつまたのはな	(三楹の花)	三冬	二七三			晩春	四五
		仲夏	二二〇			仲春	六一			晩春	四五

みぶな	(壬生菜)	晩春	七〇	むかえうま	(迎馬)	初秋	二二〇	むぎばたけ	(麦畑)	初夏	一七二
*みぶねまつり	(壬生念仏)	晩春	四五	むかえがね	(迎鐘)	初秋	二二二	*むぎぶえ	(麦笛)	初夏	一七二
みぶねねぶつ	(壬生念仏)	晩春	三一	*むかえつゆ	(迎火)	初秋	九五	*むぎふみ	(麦踏む)	初春	三〇
みぶのかね	(壬生の鉦)	晩春	四五	むかえび	(零余子)	初秋	二二二	むぎぼこむ	(麦踏む)	初春	三〇
みぶのめん	(壬生の面)	晩春	四五	*むかごめし	(零余子飯)	晩秋	二〇七	*むぎまき	(麦蒔)	初夏	一一七
みまんりよう	(実万両)	三冬	三二六	*むかか	(蜈蚣)	三夏	二五一	むぎまく	(麦蒔く)	初冬	二九九
みみあて	(耳当)	三冬	二八八	むかか	(百足虫)	三夏	二五一	*むぎめし	(麦蒔く)	初夏	一〇七
みみかけ	(耳掛)	三冬	二八八	むか	(百足)	三夏	二五一	むぎゆ	(麦湯)	三夏	一〇九
*みみず	(蚯蚓)	三夏	一五二	*むぎ	(麦)	初夏	一七二	むぎわら	(麦藁)	初夏	一一七
*みみずなく	(木菟)	三冬	三二五	むぎあおむ	(麦青む)	三春	七二	*むぎわらだこ	(麦藁章魚)	仲夏	一四四
*みみずなく	(蚯蚓鳴く)	三秋	二二五	むぎあめき	(麦風)	初夏	八五	むぎわらとんぼ	(麦藁とんぼ)	三秋	二二三
*みみぶくろ	(耳袋)	三冬	二八八	むぎあらし	(麦嵐)	初夏	九三	むぎわらぼうし	(麦藁帽子)	三秋	二二三
みむらさき	(実紫)	晩秋	二四四	むぎう	(麦生)	初夏	一七二	むぎわらぼうし	(麦藁帽子)	三夏	一〇六
*みもぎ	(ミモザ)	初春	六二	*むぎうすら	(麦鶉)	晩春	一五〇	むぎをふむ	(麦を踏む)	初春	三〇
*みやこおどり	(都をどり)	晩春	四二	むぎうち	(麦打)	初夏	一七二	むく	(木槿)	三秋	二二八
みやこおどり	(都踊)	晩春	四二	むぎうら	(麦熟る)	初夏	一七二	*むくげ	(棕鳥)	初秋	二二八
*みやこぐさ	(都草)	初夏	一七七	むぎがら	(麦稗)	初夏	一七二	*むくのり	(棕鳥)	三秋	二二八
みやこどり	(都鳥)	三冬	三二六	むぎがらやき	(麦穀焼)	初夏	一七二	*むぐら	(棕の実)	晩秋	二四三
*みやこわすれ	(都忘れ)	晩春	六九	*むぎかり	(麦刈)	初夏	一七二	*むぐら	(棕)	三夏	一七四
みやさもり	(宮相摸)	初秋	二二五	むぎごうま	(麦車)	初夏	一七二	むぐら	(律茂る)	三夏	一七四
みやまさりしま	(深山霧島)	晩春	六二	むぎこうせん	(麦香煎)	三夏	一一一	*むぐらわかば	(律若葉)	晩春	七三
みやまりんどう	(深山竜胆)	初秋	二五八	むぎこがし	(麦こがし)	三夏	一一一	*むくろじ	(無患子)	晩秋	二四四
みゆきばれ	(深雪晴)	晩冬	二七七	むぎこき	(麦扱)	初夏	一一七	むくろじのみ	(無患子)	晩秋	二四四
みようがじる	(茗荷汁)	晩夏	一七一	むぎじようちゆう	(麦焼酎)	三夏	一〇九		(無患子の実)	晩秋	二四四
*みようがだけ	(茗荷竹)	晩春	七一	*むぎぢや	(麦茶)	三夏	一〇九	*むげつ	(無月)	仲秋	一九六
*みようがのこ	(茗荷の子)	晩夏	一七一	むぎとろ	(麦とろ)	三夏	一〇九	むこぎ	(むこぎ)	仲春	六五
*みようがのはな	(茗荷の花)	初秋	二五一	*むぎのあき	(麦の秋)	晩秋	二〇八	むごんもうで	(無言詣)	晩夏	一三一
みようほうの火	(妙法の火)	初秋	二二二	*むぎのあきかせ	(麦の秋風)	初夏	八五	*むささび	(鼯鼠)	三冬	二二三
*みる	(御松)	三春	七九	むぎのくろほ	(麦の黒穗)	初夏	九三	*むしうり	(虫)	三秋	二二三
みわたる	(御渡り)	晩冬	二八三	むぎのほ	(麦の穂)	初夏	一七二	むしおい	(虫追い)	三秋	二二六
みんみん	(みんな)	晩夏	一四八	*むぎのめ	(麦の芽)	初冬	三二七			晩夏	一一九
*みいか	(六日)	新年	三三五								



もかる	(藻刈る)	三夏 一一九	*もちのはな	(鶯の花)	初夏 一六二	もみすりうた	(籾摺歌)	仲秋 二二二
*もきちぎ	(茂吉忌)	初春 四六	もちのよ	(望の夜)	仲秋 一九六	もみつける	(籾浸ける)	晩春 二二二
もくさお	(葦草生ふ)	三春 七七	*もちばな	(餅花)	初春 三四九	もみほす	(籾干す)	仲秋 二二二
もくしゆく	(首蓿)	仲春 七八	もちむしり	(餅花煎)	年越 二八四	もみまく	(籾蒔く)	晩春 二二二
*もくせい	(木犀)	晩春 七三	*もつこくのはな	(餅筵)	年越 二八四	もみむしろ	(籾蒔)	仲秋 二二二
*もぐらうち	(土竜打)	晩秋 二三六	もどりがつお	(木斛の花)	仲夏 一六三	*もも	(桃)	初秋 二二二
もぐらおい	(土竜追)	新年 三四九	もどりがつお	(戻り梅雨)	三秋 二三〇	ももちどり	(桃植う)	晩春 三二二
*もくれん	(木蓮)	新年 三四九	ものだね	(物種)	晩夏 九五	もものせつく	(桃の節句)	三春 四九
もくれん	(木蘭)	仲春 六三	*ものだねまく	(物種蒔く)	仲春 三一	*もものはな	(桃の花)	仲春 三九
もじずり	(文字摺)	仲春 六三	*もののはな	(もの芽)	仲春 三一	もものひ	(桃の日)	晩春 六三
もじずりそ	(文字摺草)	仲夏 一七七	*ものはな	(藻の花)	仲春 七二	もものみ	(桃の実)	仲春 三九
*もず	(鴟)	仲夏 一七七	*もみ	(籾)	仲夏 一八〇	ももんが	(桃吹く)	初秋 二二二
*もずく	(百舌鳥)	三秋 二二七	もみうす	(籾臼)	仲秋 二二二	もやしうど	(ももんが)	初秋 二二二
もずく	(海雲)	三春 七九	もみおろす	(籾下す)	仲秋 二二二	もやしうど	(もやし独活)	三冬 三三三
もずく	(水雲)	三春 七九	もみがらやく	(籾殻焼く)	仲秋 二二二	もゆ	(灸ゆ)	晩春 七一
もずく	(海蘊刈)	三春 七九	*もみじ	(紅葉)	仲秋 二二二	もりあおがえる	(森青蛙)	晩夏 八九
もずたけり	(鴟猛る)	三春 七九	もみじ	(黄葉)	仲秋 二二二	*もりたけき	(守武忌)	三夏 一三六
もずのこえ	(鴟の声)	三秋 二二七	もみじあおい	(紅葉)	晩秋 二四〇	もろがえり	(蒼鷹)	初秋 二二三
もずのはやにえ	(鴟の贄)	三秋 二二七	(もみぢあふひ)	(紅葉且つ散る)	晩秋 二四〇	もろこ	(諸子)	三冬 三三四
もずのはれ	(鴟の晴贄)	三秋 二二七	*もみじかつちる	(紅葉)	晩秋 二四〇	もろこし	(諸子魚)	三春 五四
もずびより	(鴟日和)	三秋 二二七	*もみじがわり	(紅葉狩)	晩秋 二四〇	もろこし	(諸子釣る)	三春 五四
もち	(餅)	年越 二八四	もみじがわ	(紅葉川)	晩秋 二四〇	もろこはえ	(諸子鮎)	三春 五四
*もちあい	(餅間)	三春 七七	もみじぎけ	(紅葉酒)	晩秋 二二六	もろこぶね	(諸子舟)	三春 五四
もちくぼり	(餅配)	年越 二八四	*もみじちる	(紅葉茶屋)	晩秋 二二六	もろはぐさ	(両葉草)	三春 五四
もちこめあらう	(餅米洗ふ)	年越 二八四	もみじなべ	(紅葉鍋)	初冬 三三三	もろはだぬぎ	(諸肌脱)	初夏 一七四
もちしようがつ	(望正月)	新年 三三五	*もみじぶな	(紅葉鮒)	三冬 二八九	もんしろちよう	(紋白蝶)	晩夏 一五五
もちつづき	(望月)	年越 二八四	もみじみ	(紅葉見)	晩秋 二二九	*やいとばな	(灸花)	晩夏 一七六
もちつづき	(餅搗)	年越 二八四	もみじやま	(紅葉山)	晩秋 二二六	やえぎざき	(八重桜)	晩春 一七〇
もちつづき	(餅搗唄)	仲秋 一九六	もみじやま	(紅葉見)	晩秋 二二六	やえつづき	(八重樺)	三春 五八
もちのしお	(望の潮)	仲秋 二〇五	もみず	(もみづ)	晩秋 二四〇	やえむぐら	(八重葎)	三夏 一七四
					仲秋 二二二	やえやまぶき	(八重山吹)	晩春 六三